

学会便り 第143回秋期大会報告

第43回「若手の会」および「若手育成のための合同会合」 Meeting report on “the 43rd Youth meeting” and “Associated meeting for youth development”

愛須 優輝

Yuki AISU

1. 若手の会 第43回会合

軽金属学会第143回秋期大会は現地・オンラインのハイブリッド開催となり、今回若手の会第43回会合も初のハイブリッド開催とした。会合は3日目の昼食時間帯（2022年11月13日（日）、12:10～13:10）に、現地では全員前向きの席配置でお弁当を黙食し、オンライン（Zoom）では各自で昼食を準備し、その後話題提供の講演を行う形式で行った。このような感染予防をとった形式ではあるが、第137回大会以来の実に約3年ぶりに会場にて会合を行うことができた。大学、企業、また現地、オンライン合わせて25名程度の方々に参加いただいた。

話題提供は、弘前大学の峯田才寛先生（図1）より、弘前について、研究内容について、弘前大学での研究室生活についてお話を頂いた。特に、研究室生活についての話題の中では、多く所属している学生さんたちが自由に生き生きと研究活動を行うことのできる環境づくりについて語っていただいた。若手を育成するという観点からのお話は非常に興味深かつ有意義で、質疑も活発なものとなった。

講演会ならびにその後の活発な質疑を通じて、若手同士の親睦を深めることができた。最後に、現地ならびにオンライン会場の準備や当日のサポートに尽力いただいた軽金属学会第143回大会実行委員の皆様がこの場を借り厚く御礼申し上げる。

2. 若手育成のための合同会合

大会初日の11月11日（金）の19:00～21:00に、若手育成のための合同会合を開催した。会合は自由が丘駅近くの居酒屋において、マスク会食などできる限りの感染防止策を行ったうえで現地開催した。今回は、大学、企業合わせて計11名に参加いただいた（図2）。

合同会合では、ボリューム満点の料理を楽しみながら、研究内容、講演発表の心構え、オンラインとオフラインの良し悪しなど多種多様な話題で大いに盛り上がった。長くオンラインで開催していたこともあり、今回が初参加という方も多い中であつたが、和気あいあいとした雰囲気での親睦を深めることができた。

若手の会では、形式は柔軟に変化させながら、若手の会、および若手育成のための合同会合を開催していく。他大学の学生、他企業の研究者と交流し、横のつながりを広げられるよい機会になると思うので、次回の香川大学でも奮ってご参加



図1 若手の会での記念写真



図2 若手育成の合同会合での記念写真

いただきたい。また、そのほかにも若手交流の場を提供できる企画を考えていきたい。若手の会の活動内容に対して、ご意見・ご希望などございましたら以下の若手の会のメールアドレスまでご連絡いただきたい。皆様の声をお待ちしている。若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com
若手の会世話人：室蘭工業大学 佐々木 大地
日本軽金属株式会社 清水 裕太
株式会社UACJ 愛須 優輝（文責）